

横浜市教育委員会
臨時会会議録

- 1 日 時 令和6年11月15日（金）午前10時00分
- 2 場 所 市庁舎 18階共用会議室（みなと6・7）
- 3 出席者 下田教育長 中上委員 大塚委員 泉委員 綿引委員
- 4 欠席者 森委員
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教 育 委 員 会 臨 時 会 議 事 日 程

令和6年11月15日（金）午前10時00分

1 会議録の承認

2 一般報告

「よこはま子どもピースメッセンジャー」の国際連合本部等への派遣について
いじめ防止市民フォーラムの開催について

3 審議案件

教委第36号議案 横浜市一般職職員の給与に関する条例等の一部改正に関する意見の申出
について

教委第37号議案 横浜市立学校条例の一部改正に関する意見の申出について

教委第38号議案 訴訟等に関する教育長臨時代理について

4 報告案件

教委報第4号 令和6年度歳入歳出予算案（12月補正）に関する意見の申出に係る臨時代
理報告について

5 その他

[開会時刻：午前10時00分]

下田教育長 ただいまから、教育委員会臨時会を開会いたします。
本日は、森委員より欠席の連絡を頂いております。
初めに、会議録の承認を行います。10月18日の会議録の署名者は中上委員と綿引委員です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員 <了 承>

下田教育長 それでは、承認いたします。字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。
なお、11月7日の教育委員会定例会の会議録につきましては、準備中のため、次回以降に承認することといたします。
次に、議事日程に従い、教育次長から一般報告を行います。

石川教育次長 【一般報告】

1 市会関係

教育次長の石川です。それでは、報告いたします。
まず、市会関係ですが、前回の教育委員会定例会から本日までの間についての報告はございません。

2 市教委関係

(1) 主な会議等

- 11/8 こころの劇場
- 11/9 第26回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜
- 11/13 スクールミーティング

(2) 報告事項

- 「よこはま子どもピースメッセンジャー」の国際連合本部等への派遣について
- いじめ防止市民フォーラムの開催について

次に、教育委員会関係の主な会議等ですが、11月8日に、市立小学校の児童向けの鑑賞事業である「こころの劇場」が神奈川県民ホールで開催され、下田教育長が視察しました。

また、11月9日に、「第26回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜」が横浜みなとみらいホールにて開催され、下田教育長が出席しました。

さらに、11月13日に、みなとみらい本町小学校にてスクールミーティングを実施し、下田教育長、中上委員、大塚委員が出席しました。

次に、報告事項として、この後、所管課から2点報告いたします。まず、1点目ですが、「『よこはま子どもピースメッセンジャー』の国際連合本部等への派遣について」、2点目は「いじめ防止市民フォーラムの開催について」、報告いたします。

私からの報告は以上です。

下田教育長	<p>報告が終了いたしました。何か御質問等ございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、「『よこはま子どもピースメッセンジャー』の国際連合本部等への派遣について」、所管課から御報告いたします。</p>
山本学校教育企画部長	<p>学校教育企画部長の山本です。「『よこはま子どもピースメッセンジャー』の国際連合本部等への派遣について」、所管課長から御報告いたします。</p>
高橋小中学校企画課長	<p>小中学校企画課長の高橋でございます。よろしくお願いたします。「『よこはま子どもピースメッセンジャー』の国際連合本部等への派遣について」、御説明いたします。</p> <p>まず、「1 目的」でございますが、国際機関の訪問を通じて国際平和への貢献について体験的に学ぶとともに、国連国際学校、UNISと呼ばれておりますが、そちらへの体験入学を通して、子どもたちの国際感覚を養い、グローバル人材の育成を目指すものでございます。</p> <p>「2 派遣児童生徒」でございますが、「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」で横浜市長賞を受賞した4名の児童生徒でございます。市場小学校けやき分校の志村優妃さん、大道小学校の加藤夢丸さん、西谷中学校のイグウェイト友菜さん、潮田中学校の林睿騰さんの4名です。この4名に至るまでは、横浜市内の小中学校の児童生徒約42,000人が「国際平和のために自分たちにできること」をテーマに作文を書いております。その作文の校内選考、区の大会の選考、それを経て、区の代表が集まったスピーチコンテストを7月末に行いました。私立学校からも2名の参加がございまして、小中学生で計38名のスピーチコンテストを行っております。この中から市長賞の4名をニューヨークに派遣しています。</p> <p>「3 派遣期間」になりますが、10月13日日曜日から10月20日日曜日の1週間でございます。</p> <p>「4 主な活動内容」についてですが、「(1) 国連機関・日本政府代表部へ訪問」が挙げられます。その38名の児童生徒で、平和に向けた「よこはま子どもピースメッセージ2024」というメッセージを作り、お届けに上がっています。また、「① 国連本部での面会者」としましては、国連副事務総長でいらっしゃいますアミナ・J・モハメッド氏。こちらには、横浜市長の英文によるメッセージを進呈しております。また、下にも4枚ほど写真がございまして、左から小野舞純様、リサ・ブッテンハイム様、フォルカー・トゥルク様、中満泉様とも対談させていただきました。その際には、横浜市内で取り組んだユニセフ募金約730万円の目録も届けさせていただいております。先に進めていただいて、それ以下、野田祥子様、リリー・グレイ様、森尊俊様、宇川優様ともお話をさせていただいております。</p> <p>さらに、「(2) 国連国際学校 (UNIS) への体験入学」という学校への体験入学を実施しております。こちらは歓迎会をしていただきました。その後、全て英語で授業を行っていますが、そちらの授業に参加し、後の学園祭にも参加させていただきました。その際、2泊のホームステイも実施しております。</p> <p>「5 NY訪問を終えた子どもピースメッセンジャーの感想」です。一つ目は大道小学校の加藤夢丸さんですが、「国連で会った方々が共通しておっしゃっていたことは、『人とのつながり』や『コミュニケーション』の大切さ。自分と意見がちがうから話さない、とか、この人は苦手な人だから話さないといった考え方ではなく、自分と違うからこそ知ろう、と考え、行動していこうと思う」という感想を残しています。実際にこの児童生徒たちが体験していく中で、このメッ</p>

ページを伺うにつれて、いろいろなことを子どもたちが自分たちで話し合っただけの行動の判断を決めていくような様子が見られ、成長が見られたというところもございます。

今後の取組でございますが、11月26日には山中市長、下田教育長にこの活動報告を行いたいと思います。また、12月9日ですが、これは初開催になりますが、横浜市庁舎1階アトリウムにて、「よこはま子ども国際平和シンポジウム」というものを開催し、市民の皆さんにも知っていただく機会を持とうと考えております。また、四つ目になりますが、12月14日にはユニセフ協会の「ハンド・イン・ハンド」という街頭募金活動を桜木町駅で行っておりますが、こちらによこはま子どもピースメッセンジャーのメンバーで参加していこうと考えております。また、この4名は、来年度のスピーチコンテストや実行委員の委嘱式などの司会もお願いして、更に活躍を続けていただくことになっております。報告は以上でございます。どうぞよろしくお願いたします。

下田教育長

報告が終了いたしました。御質問等ございますか。

大塚委員

御報告ありがとうございました。横浜市が「ピースメッセンジャー都市」になってから37年、途中、新型コロナウイルス感染症などでいくつか中断したこともあったと思いますが、その歴史を積み重ねてきたことというのは素晴らしいと思います。その中で、特に約1週間、まず、子どもたちが初めて出かけて行って国際連合本部等を体験してくるのですが、その子どもたちの1週間の成長ぶりというのを感じるエピソードが何かあれば、そこを教えていただきたいのが1点。

それからもう1点は、様々な取組の中で、ピースメッセンジャーとして活躍した卒業生が今、例えば本市のこの取組に対して御協力いただいているようなことがあるようでしたら、それについても教えていただきたいと思ひます。2点、お願いたします。

兵頭小中学校
企画課指導主
事

小中学校企画課指導主事の兵頭と申します。1点目の御質問についてですが、子どもたちの成長についてということで、先ほど高橋小中学校企画課長からもありました、多くの国連機関の方々が共通しておっしゃっていたのは、お互いを知ることが大事、そして、コミュニケーションが大事、対話が大事といったことを共通しておっしゃられていました。派遣児童生徒は4名とも個性が全然違う児童生徒ですが、1週間の中でお互いを知ろうとして、たくさん対話をするようになったと思ひます。何か一つのものを決定するときも、じゃんけんや、順番などではなく、対話を通して決めるというようなことを、彼らの中で実践し始めたというのがエピソードとして言えるかなと思ひています。それが一つ目です。

二つ目の、これまでのピースメッセンジャーや子ども実行委員たちのつながりといったところでは、実際にこれまで過去のピースメッセンジャーが今どんな活動をしているかといったアンケートなども取りまして、可能な限り情報を得ているのですが、多くの方が海外留学であったり、国際協力などの活動にも関わっているということが分かっています。そして、実際に国際機関でグローバルに活躍している方も何名かおり、そのうちの一人を今度、12月に行います「よこはま子ども国際平和シンポジウム」にお招きして、パネリストとして登壇してもらおうと思ひています。そういった過去、そして今、更に未来のピースメッセンジャーや、ピースメッセンジャーにならなくても、作文を書いて参加した子どもたちみんながチームとして活躍していけるように、今年度はプログラムのスローガンやチーム名を決めまして、一過性のものにならない活動にしていこうという動きも

行っております。以上です。

大塚委員

ありがとうございます。まず、ピースメッセンジャーとして4名の小学生・中学生が、この1週間の中で様々な互いを知ったり、深いつながりを得ることができたと思います。このつながりがまた、この4名の方々の人生にすごく大きなインパクトのあるものになっていくのではないかと思います。今、最後におっしゃってくださったように、42,000人の子どもたちが、ここにたどり着くまでに様々な関わりをしていったという活動が一過性ではないというところが非常に重要な点だと思います。ぜひそこも大切に組み込んでいただきたいと思います。ありがとうございます。

下田教育長

ほかにごありますか。

綿引委員

歴史のある素晴らしい取組で、今年も参加された4名の方々だけではなくて、作文を出した子どもたちにも大変貴重な場を提供なさっていると思います。その上で、40年を視野に入れて、このピースメッセンジャーを更にどのように進化させるかということ、海外との関係がありますから準備にも時間がかかりますので、ぜひ来年度の事業計画の中で少しずつでも取り組んでいただけると良いのかなと思います。

その上で、ぜひ検討いただきたい点が2点あるのですが、1点目は、やはり派遣する前の事前研修。若しくは、作文を書く前の、全ての作文を書く子どもたちに対する学校での研修。こういったことは、オンラインなどといったことでもできると思いますし、学習ダッシュボード「横浜St☆dy navi」などを活用していろいろなチャンスも作れると思いますので、ぜひ事前研修を検討してほしいなと思います。そのときに、ぜひ実社会とのつながりを感じられるようなカリキュラムとして学習ダッシュボード「横浜St☆dy navi」などを活用するのであれば、世界的なリソースを使った学びを深めて作文を書いて、選出された児童生徒が国際連合本部等へ行ってきてフィードバックするというような流れを、キャリアの形成のためにもぜひ検討してほしいというのが1点目でございます。

2点目は、今、大塚委員がおっしゃられたように、そろそろ40年に向けてアルムナイを結成なさったらどうかと思います。アルムナイを結成して、その方々は一定の年齢になっていると思いますので、その方々が実社会とのつながりを子どもたちに伝え、キャリア形成にもつなげていくような巡回ができると、より素晴らしい活動になるのではないかと思います。ジャストアイデアベースですが、ぜひそのような視点も入れて、事業計画の中に取り入れていただけると良いのではないかと思います。以上でございます。

高橋小中学校
企画課長

ありがとうございます。1点目につきましては、1人1台端末が整ってから、「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の動画などを各クラスで児童生徒が見られるような状況を作って事前に動画を確認するなど、実際にこのニューヨークの報告も今、映像でまとめているところですが、そちらも見ていただけたような状況にしていきたいと思います。4名ではありますが、26万人に下りていくようなものを常に考えていきたいと考えております。

2点目の更に活動を広げていく。これまで積み重ねたピースメッセンジャーの、人材と言いますか宝ですので、そちらと今後とも連携を取り合いながら、この活動をうまく広げていく。「よこはま子ども国際平和シンポジウム」も市民のウェーブにつなげていきたいという思いもございますので、その中で上手に取り

入れていきたいと考えております。ありがとうございました。

中上委員

御説明ありがとうございます。今、各委員からも意見がありましたが、37年間で途中中断があるにしても、これは非常に横浜市らしい一つの事業だと思っています。最近では全国の中で、ほかの学校でも同じように国際連合に行きメッセージを届けるというのがありますが、やはり横浜市は一味違うと言いますか、毎年どんどん進化しています。一味違うというところは、やはり継続している中で生まれてくると思います。特に、先ほどお話もありましたが、卒業生が次の「よこはま子ども国際平和シンポジウム」にも参加されたり、卒業生の中からグローバル人材ではないですが、国連であったり、ユニセフやJICA、NGO、NPOと、たくさんありますよね、その中で活躍する人材になるきっかけにもつながればと期待するところです。

いずれにしても、国連に行き今回も実際に体験をされていますよね。ニューヨークの国連国際学校（UNIS）へ実際に体験入学して、いろいろな行事にも参加するなど、これは個人にとっても非常に良かったと思います。昨年も代表の中に障害のある方がいらして、非常に良い体験をして、お話を伺って感激したところですが、今回も4名の中には外国籍・外国につながる生徒もおられたり、視点も非常に広がってきています。42,000人が参加して、その中には、平和だけではなくSDGsや、いかに社会貢献していくことが大事かということも「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の中で大分話が出ていると聞いて、良いことだなと思いました。平和が一番大事ですが、平和プラス、いかに社会貢献するかということも教育の大きな目標だと思いますので、そこにもしっかりとつながっているなと思いました。

それで、先ほど綿引委員の話もありましたが、事前研修の中で、先ほど小中学校企画課高橋課長から、密着取材で動画を今ためているということなので、ぜひ学校の現場から選び出されたその過程も入れて、それから今回の、次に向けた取組もうまくプロモーションしていただいて事前研修に生かすなど、市民に広報を行って、教育委員会事務局はこんなに頑張っているよということの一つのプロモーションにもつながると思うので、ぜひ広報もよろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

下田教育長

ほかにございますか。よろしいですか。

それでは、ほかにご質問がなければ、次に「いじめ防止市民フォーラムの開催について」、御報告をお願いします。

住田人権健康
教育部長

人権健康教育部長の住田です。よろしくお願ひいたします。12月の「横浜市いじめ防止啓発月間」に合わせて「いじめ防止市民フォーラム」を開催いたしますので、所管課長から御説明させていただきます。

松田人権教育・
児童生徒課長

人権教育・児童生徒課長の松田でございます。「いじめ防止市民フォーラム」について御説明します。どうぞよろしくお願ひします。

資料を御覧ください。「いじめ防止市民フォーラム」ですが、横浜市いじめ問題対策連絡協議会が主催し、12月の「横浜市いじめ防止啓発月間」の取組の一環として、広くいじめ防止啓発を市民の皆様にご報告していくことを目的に開催しています。今年度の「テーマ」ですが、「オール横浜でつながり、広げる、いじめの未然防止の輪 ～一人ひとりができること～」というテーマで行います。「開催日時」ですが、令和6年12月11日水曜日13時30分から15時35分です。「会場」

は、横浜市役所1階アトリウムということで予定しております。

「内容」ですが、大きく分けて二つございます。一つ目が「児童生徒によるグループ協議」ということで、6グループを設定するのですが、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、それぞれ各区の代表児童生徒に集まっていたいただいて、大きなテーマとしては「いじめをしない自分であるために」というテーマで話し合いを行い、それぞれのまとめを発表していただくような計画としております。大きな二つ目は、少し新しい取組になりますが、大人たちによる「パネルディスカッション」ということを計画しています。「いじめをさせないために、大人ができること」ということをテーマに、いじめについて、それぞれ個人、大人としてできることを発信していただく場にしたいと考えております。参加していただくパネリストは現在、最終調整中ですが、青少年指導員、主任児童委員の方、学校・地域コーディネーター、放課後児童育成事業に関わる方、保護者の代表の方など、子どもの成長に関わる様々な立場の方に御参加いただく予定としております。

それから、資料の下半分になりますが、今回はまた、広く市民の皆様に関わっていただくということを目的に、「いじめをさせないために、大人のあなたができること」というテーマで、事前にWEBでメッセージを募集させていただきたいと計画しております。ここで頂いたメッセージについては、当日のパネルディスカッションの中で取り上げさせていただいたり、当日参加していただく大人の方々がたくさんいらっしゃるかと思うのですが、そういった観覧者の方々にも紙を用意しましてメッセージを頂いて、そういった中からまた会場で取り上げながら、パネルディスカッションに生かしていきたいと計画しております。

それから、広報の取組の関係です。資料には載っていないのですが、現在、いじめ防止をテーマにした動画の撮影をしております。そういった動画を作成し、教育委員会事務局のSNSや「すぐー」というものを使って、様々な場面での活用を計画しております。それから、毎年行っていることではありますが、「ポスター」を作成したり、今、後ろに掲示しておりますが、「のぼり旗」を各学校や関係機関、区役所等で掲示させていただきまします。それから、横浜市営地下鉄にはポスターの内容を車内広告で掲出させていただくというようなことも計画しております。さらに、新横浜駅や関内駅など、そういったところのデジタルサイネージも活用させていただく予定としております。「いじめ防止市民フォーラム」実施後にも、「すぐー」やホームページなどを活用して、保護者の方々や市民の皆様へ情報発信していくことを予定しています。

裏面は、令和6年度「横浜市いじめ問題対策連絡協議会」を構成する各種団体がそれぞれ令和6年度に予定している主な取組内容ということで記載させていただいております。御説明は以上です。どうぞよろしくお願いいたします。

下田教育長

説明が終了いたしました。御質問があればお願いいたします。

大塚委員

いじめ防止市民フォーラムについて、様々な発信の方法を考えて活用されていくということは非常に重要だと思います。なおかつ、「いじめをさせないために、大人のあなたができること」ということで、約10日間、御意見を集めるということですが、学校だけがいじめ問題を解消していくところなのではなくて、保護者や地域の御協力というのが非常に重要だと思います。ただ、まだまだ保護者御自身がどういう姿を目指せばいじめの解消につながっていくのかなど、地域がどういう姿を目指せば良いのかというところの共通理解というのは、これからではないかと感じています。そういったときに、今回のこの新たな取組で、大人自

身の何ができるかということの話合いというのは、各学校の保護者、地域の方々への大きな一つの指針のヒントになるのではないかと思います。どういう姿を目指すかということが見えてきますと、それに向けてどういうことが必要なのだろうかなど、その必要なものに向かって何ができるかというところの具体が明確になってくると思うのです。そういう具体を明確にする段階を、保護者や地域だけ、若しくは保護者と地域が、若しくはそこに子どもたちが入ってくる。そういった形で、様々な人がそれぞれの立場からできることを具体的にしていってということが非常に重要だと思えます。この取組に期待していきたいと思えます。以上です。

松田人権教育・児童生徒課長

ありがとうございます。大人に何ができるのかということ具体的にイメージしにくいのは確かにおっしゃるとおりだなという中で、今回も子どもに関わる様々な各種団体の代表の方に出させていただきますが、組織としてというよりは個人として子どもに関わる大人が、どんな小さなことでも良いからできることをという辺りで、パネルディスカッションを進めていければと考えております。どうもありがとうございます。

下田教育長

ほかにございますか。

泉委員

ありがとうございます。このいじめ防止市民フォーラムについて、今年は新たな取組として、大人ができることを考えるということを入れられたということで、資料を読んでいきますと、大人は児童生徒によるグループ協議を受けて話し合うとあります。では、大人の話合いを児童生徒はどう捉えるのだろうかということとても興味を持ちました。大人たちのそういったディスカッションを子どもたちがどう捉えるのか、代表の児童生徒以外の横浜市の子どもたちが大人のディスカッションを聞いてどう考えるのかというような機会を、学校現場で持っていたらいいかなという方策をぜひ考えていただけたらありがたいと思えました。こういった場ですし、きっと大人たちは、言うことが少しだけきれいごとになってしまうような気がするのです。そういうのを見て、子どもたちが少し自分たちの本音を語り出すようなきっかけになれば、これは良いいじめ防止市民フォーラムになると思えます。学校現場にいる一人ひとりの子どもたちが、大人たちによるパネルディスカッションをどう捉えるかというのがもし分かれば、効果検証といえますか、このいじめ防止市民フォーラムに一体どれほどの効果があったのかという一つの指標になるかと思えますので、その辺りも少し考えていただければありがたいと思えます。以上です。

住田人権健康教育部長

ありがとうございます。まさにこのいじめ防止市民フォーラムを今回だけで終わらせないという取組を、次の年の横浜子ども会議等に生かせるように、大人たちによるパネルディスカッションを一つの教材として、大人が言った意見に対して子どもがどのように感じるのかということも踏まえて、来年度1年間の活動につなげていきたいと思えます。ありがとうございました。

下田教育長

ほかにございますか。

綿引委員

ありがとうございます。今年度はもう準備が進んでいらっしゃるでしょうから難しい局面もあるかもしれませんが、ぜひぎりぎりまで検討していただけたらということと、次年度以降も考えていただきたいということなのですが、一つ目

は、横浜市として本気でこのいじめの問題に取り組むという覚悟を、下田教育長以下皆さんで取り組んでいらっしゃるという中で言えば、もし可能であれば、令和5年度の「いじめ」の状況調査結果の数字をこの場で開示して、きれいごとではなくて、本当に実態の数字を見た上で論議してもらおうというようなパーツも必要ではないかと思えます。真実の部分と事実の部分をつなげてあげるためには、データは力があるので、そういうことを考えたらどうかなというのが1点目です。

それから、「一人ひとりができること」というテーマなのですが、いじめの問題は、教育委員会事務局でもさんざん論議しているように、地域社会で子どもを守る力をいかに引き出すかということもとても大事なことで、一人ひとりができることに加えて地域社会でできることというようなテーマを入れ込むことを検討なさったらどうかと思えます。その意味で、主催団体の中のどこかに入っているのかもしれませんが、先ほど大人の関係団体の方が出てパネルディスカッションをされるとおっしゃいましたが、その中で、過去、いじめの問題が起こっている地域の代表の方々に出させていただいて、学校運営協議会として大人の立場でどのようにこの問題を考えるのか、論議するようなことも考えられたらどうかと思えました。もう企画されているのであれば御放念ください。以上です。

住田人権健康
教育部長

御指摘と言いますか御意見、ありがとうございます。前回、児童生徒の問題行動等調査で確定した令和5年度の数字を出ささせていただきましたが、その数字自体をこの場で公表したり、それを基に議論するということは、まだまだ可能なことだと思っております。どのような形で出せるかということ少し検討させていただきますが、非常に重要な御意見だったと思えます。ありがとうございます。

また、今回のパネリストの中には、学校・地域コーディネーターも実は入っております。そういった実態、学校運営協議会に参加されている方に学校の中でのいじめの実態もお話しいただきながら、ぜひパネルディスカッションの中での議論を深めていただきたいと思っております。そういった話合いの流れについても今検討しているところですので、ぜひそういった方向で考えさせていただきたいと思えます。ありがとうございます。

中上委員

御案内のとおり、世界人権デーに合わせて各局で様々なイベントや取組を12月に集中して行っているところですが、特に教育委員会事務局としては、喫緊の課題であるいじめ防止ということを正面に捉え、先ほどのお話でもありました、子どもたち自身に「いじめをしない自分であるために」や、二つ目の、大人が話し合う「いじめをさせないために、大人ができること」ということをテーマに捉えたのは、非常にタイミングが良いと思えます。特に裏面の関係団体の取組で、今までもいろいろな形で子どもを見守っていただいているわけですが、一例を挙げると、横浜市青少年指導員連絡協議会というのがあります。ここは伝統的なパトロール活動や事業を、今まで歴史的に行っているのですが、最近ではいじめや不登校に対して自分たちは何ができるのだろうというような議論もされていますから、それぞれの活動の意識も教育委員会事務局にとってありがたいです。いじめ防止の地域の役割、地域の教育力を生かすには非常に良いタイミングですし、いじめ防止市民フォーラムでそのような意義のある議論につながれば良いなと思えます。

いずれにしても、区役所には、福祉保健センターはじめ、青少年指導員だけでなく、スポーツ推進委員や民生委員の主任児童委員など、民間企業にはNPO等もそろっていますし、商店街の空き家や空き店舗を使った不登校の居場所づくり

の活用や、そこを支えるソフト面のボランティアなど、いろいろ必要だと思えますが、そういったことをアピールする場でもあると思うのです。ですから、ぜひ大人のパネルディスカッションの中身を、私も当日見学させていただいて一緒に勉強したいと思います。ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

住田人権健康
教育部長

よろしくお願いいたします。今おっしゃっていただいた、各団体が実際にどういふことをして、先ほど泉委員からもきれいごとでなくという話を頂きましたが、実際の中で困っていること、やり切れていないことや、どうしたら良いか分からないというような悩みなどもぜひこの場では出していただくと、それをみんなで考えていこうとなります。足りないところはほかの団体が何かカバーできるのではないかなど、そういった議論の深まりにもつなげていきたいと考えています。ありがとうございます。

下田教育長

よろしいですか。それでは、御意見がなければ、次に議事日程に従い、審議案件及び報告案件に移ります。

まず、会議の非公開について、お諮りいたします。教委第36号議案「横浜市一般職職員の給与に関する条例等の一部改正に関する意見の申出について」、教委第37号議案「横浜市立学校条例の一部改正に関する意見の申出について」、教委報第4号「令和6年度歳入歳出予算案（12月補正）に関する意見の申出に係る臨時代理報告について」は、議会の審議案件のため、教委第38号議案「訴訟等に関する教育長臨時代理について」は、訴訟等に関する案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

下田教育長

それでは、教委第36号議案から教委第38号議案及び教委報第4号は、非公開といたします。

審議に入る前に、事務局から報告をお願いします。

森長総務課長

次回の教育委員会定例会は、12月20日金曜日午前10時から開催する予定です。また、次々回の教育委員会定例会は、1月10日金曜日の午前10時から開催する予定です。以上になります。

下田教育長

皆様、よろしいでしょうか。次回の教育委員会定例会は、12月20日金曜日の午前10時から開催する予定です。別途、通知いたしますので、御確認ください。

次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴・報道機関の方は御退席願います。また、関係部長以外の方も退席してください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

教委第36号議案「横浜市一般職職員の給与に関する条例等の一部改正に関する意見の申出について」

(原案のとおり承認)

教委第37号議案「横浜市立学校条例の一部改正に関する意見の申出について」

(原案のとおり承認)

教委第38号議案「訴訟等に関する教育長臨時代理について」
(原案のとおり承認)

教委報第4号「令和6年度歳入歳出予算案(12月補正)に関する意見の申出に係る臨時代理報告について」
(報告のとおり承認)

下田教育長

本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会臨時会を閉会といたします。

[閉会時刻：午前11時15分]